休　　学　　願

令和　　年　　月　　日

教育学部長　　殿

平成 ・ 令和　　年　　月入学

学生番号

氏　　名　　㊞

住　　所　〒

連絡先（電話）

（E-mail）

保証人氏名　　㊞

下記のとおり休学したいので、ご許可くださるようお願いします。

記

休学理由　　疾病のため　・　経済的理由　・　特別の事情（　　）

休学期間　　自　令和　　年　　月　　日
　　至　令和　　年　　月　　日

授業料　　（前 ・ 後）期分　　年　　月　　日　納入済
納入状況　　全額免除の場合：（前・後）期分授業料全額免除許可済

休学許可期間　　年　　月　　日 ～　　年　　月　　日　許可済

奨学金受給〔 有 ・ 無 〕

※受給有の場合　名称（　　）
　　休学の連絡（　　月　　日）済

〈事務チェック欄〉	
学務情報入力	
債権異動入力	

留　意　事　項

１．休学を願い出る場合は、事前に指導教員と相談し、指導教員の副申書を添付すること。

２．指導教員に相談する際、以下の書類を休学願と併せて提出すること。

（１）疾病の場合
　診断書（診断書の提出が困難な場合は、その理由及び疾病の状態を記載したキャンパスライフ・健康支援センターの医師・カウンセラー等の所見）

（２）経済的理由の場合　※１
　学資支弁が困難になったことを客観的に判断できる申立書

（３）特別の事情による場合　※２
　その理由の詳細を記した理由書
　別紙「提出書類の種類について」の ③添付書類

※１　経済的理由とは、家計支持者の病気及び死亡、家業の倒産、地震・風水害・火災等によって、学資支弁が困難な状況にあって、なおかつ奨学金の給付・貸与又は授業料免除等の就学支援が受けられない場合等をいう。

※２　特別の事情とは、海外語学研修、海外事情調査・研究、インターンシップ、ボランティア活動、家族の看護、介護、出産、育児及び就業（社会人学生の業務多忙等）等、通学を継続することが困難な事情がある場合をいう。
ただし、他大学又は他学部の受験等により、本学における就学が困難とする理由については「特別の事情」に該当しないこととする。

３．授業料の免除又は納入の状況については、提出時に申告すること。

４．奨学金を受給している者は、奨学金の一時停止等の手続きを行うこと。

５．「休学願」のうち休学理由等で不要な文字については、二重線で消すこと。

６．特別の事情による休学の場合は、（　）内に上記※２の事情を記入すること。

提出書類の種類について

①疾病の場合
・休学願
・副申書

【添付書類】
診断書またはキャンパスライフ・健康支援センターの医師・カウンセラー等の所見

②経済的理由の場合
・休学願
・学資支弁が困難になったことを客観的に判断できる申立書
・副申書

③特別の事情の場合
・休学願
・理由書
・副申書

【添付書類】
Ⅰ）海外渡航　ⅰ）語学研修（入学許可書）
　　ⅱ）海外事情調査・研究等（調査・研究計画書等）
Ⅱ）長期のインターンシップ（受入証明書）
Ⅲ）家族の看護、介護（診断書）
※家族構成、看護に対する責任の度合い等を理由書の中に記載すること。
Ⅳ）家族の育児（母子手帳、氏名記載のページ等）
Ⅴ）就業（社会人入学の有職者の場合、職場復帰命令書等）

見　本

副　　申　　書

令和　　年　　月　　日

教育学部長　殿

指導教員署名　　㊞

休学申出者の氏名：　○○○○

記

（例）
　上記の学生から、△△△△（疾病名等）を治すために治療（療養）に専念したいので休学をしたい旨の申し出があり、キャンパスライフ・健康支援センターの□□□□医師（カウンセラー等）と協議した結果、早期に治療（療養）することが今後の修学計画を円滑にするものと判断いたしました。
　よって、上記のとおり副申します。

（休学を申し出た学生と面談した内容等により、休学が最善の方法であると判断されたことを記載願います。）

（経済的理由での休学の場合、上記内容に加えて「休学中の学生に係る責任を負うことに同意する旨」を明記願います。なお、「責任」とは休学を最善の方法と判断したことに対する「責任」とします。）

見　本

理　　由　　書

令和　　年　　月　　日

教育学部長　殿

学生番号

氏　　名　　㊞

※「理由書」は、特に定まった様式はありません。（これは参考です。）

本文に、休学理由の説明を記入してください。

※経済的理由の場合
理由書でなく「申立書」とし、学資支弁が困難になったことを客観的に判断できる説明を記入してください。

※特別の理由（家族の看護）の場合
家族構成や看護に対する責任の度合い（自分が看護すべき状況にあることの説明）等を記入してください。